

分科会の進め方

【協議事項①】 前期計画の目標指標の評価

使用する資料	指標確認シート
達成目標	「市民協働会議 評価」欄の確定 評価に対するコメント等の記載

■手順

(1) 3段階評価

- ・目標値に対する実績値と、市の評価を参考に、政策全体として「好調」「横ばい」「不調」の3段階で総合評価します。
- ・市民協働会議評価欄へ記載します。

<作業1>

- ①まずはそれぞれ頭の中で評価およびその理由を考える（数分間）
- ②自身の評価を、付箋に書いて貼りだす
- ③分科会で評価の理由について意見交換
- ④分科会で話し合い、評価を確定させる

【総合評価の例】

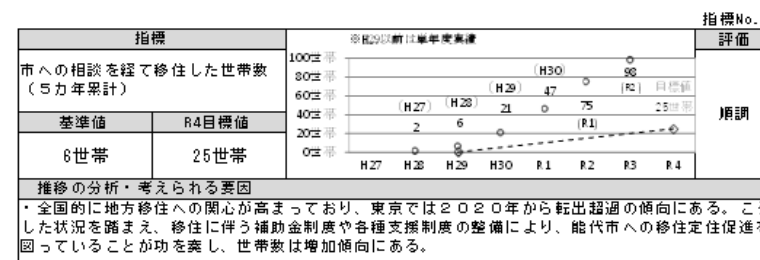
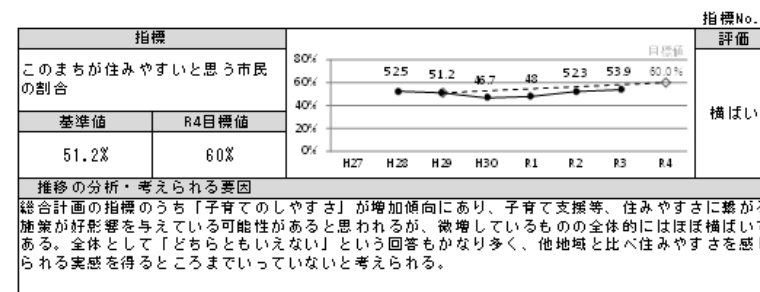
- 1) 指標が3つあり、横ばい1つ、不調2つ
→不調が多く、全体としては「不調」
 - 2) 指標が5つあり、好調2つ、横ばい1つ、不調2つ
→好調、不調同数のため、全体としては「横ばい」
 - 3) 指標3つのうち、好調1つ、コロナ禍の影響で数値が急落した不調2つ
→コロナ前が順調な推移であれば、全体として「好調」
コロナ前も不調ぎみであれば、「不調」または「横ばい」
- ※あくまで例であり、推移、市の分析を踏まえ、ご判断願います。

※指標確認シートについて

「評価」欄は、指標の実績値に対する市の自己評価です。
目標値に対する実績値を表示しています。
実績に対する市の分析等です。

指標確認シート

基本目標1 元気で魅力あるまち（地域づくり・健康づくり）
政策〈1〉地域資源を活かした特色あるまちづくり



市民協働会議
評価

参考：市の自己評価の平均値 → 「横ばい」

※市の自己評価の平均値を参考として掲載しています。

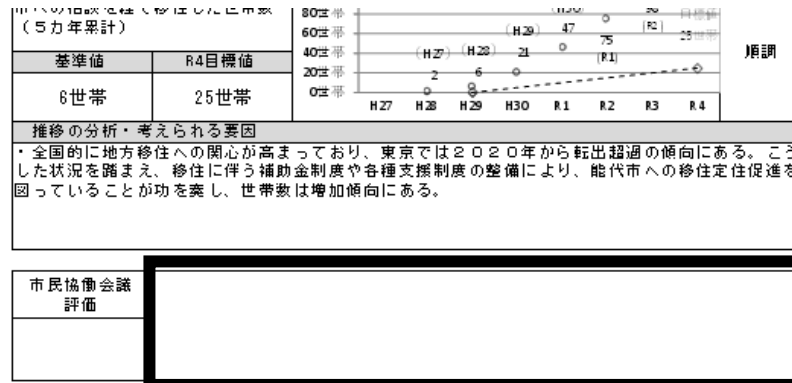
7/20 は作業1が終わっている状況を目指してください。
作業が順調の場合、作業2に取り掛かってください。

(2) 評価に対するコメント記入

- ・事業等の確認資料等も参考に、評価に対してコメントを記載します。

<作業2>

- ①それぞれ別紙コメントシートにコメントを記載し、事務局に提出
※次回の個別の分科会までに提出をお願いします
- ②事務局でコメントを模造紙に反映
- ③次回、それを元に話し合い、分科会としてのコメントにまとめる



※コメント例

- ・不調の原因のひとつに〇〇があるのではないか
- ・〇〇との連携がもっと必要と感じる
- ・現在の市の考えを継続して事業を進めてよいと考える
- ・〇〇のような視点を取り入れれば、より効果があるのでは
- ・指標のターゲットが不明確なので、もっと具体的な指標にしてはどうか。
- ・全市民としているが、例えば〇〇世代のみ抜き出して指標としてはどうか

※事業等の確認資料について

政策毎に「目指す姿」を掲載。
市が取り組んできた主な事業を抜粋して掲載。

【参考】事業等の確認資料

基本目標1 元気で魅力あるまち（地域づくり・健康づくり）
政策（1）地域資源を活かした特色あるまちづくり

【目指す姿】

- 地域の特性が活かされ、能代らしいまちづくりにつながる。
- 地域の資源が認識され、観光や特産品、市のイメージ向上に活かされる。
- 市の魅力が向上し、住み続けたいまち、暮らしたいまちになる。

【実施してきた主な事業】

事業名	バスケットの街づくり推進事業	
<事業内容> バスケミュージアムの設置、運営。 バスケの街づくり市民チャレンジ事業の実施、能代カップの支援 3×3ユニットの貸出（右図参照） バスケの街づくり推進計画の推進。推進にあたっては市民の意見を反映できる仕組みを構築している。		
事業名	宇宙のまちづくり推進事業	
<事業内容> 銀河連邦交流、のしろ銀河フェスティバル、 能代宇宙イベントの実施等。 「宇宙なんちゃらこてつく」コラボ事業。		
事業名	シティセールス推進事業	
<事業内容> 能代の魅力を発掘・創造し、SNS（フェイスブック、twitter）を活用した市内外への情報発信や宣伝活動等を実施。 シティセールス推進指針の策定→今後さらなる情報発信力の強化等を行う。		
事業名	移住定住環境整備事業	
<事業内容> 移住定住を支援するための情報提供や相談対応、移住体験ツアー等の実施。 移住・就業支援金、若年世帯移住定住奨励金などの助成金制度により、移住希望者が安心して移住できる環境となるよう支援。		

その他事業

恋文のまちづくり推進事業
地域おこし協力隊事業
ふるさと納税推進事業

若年世帯移住定住奨励事業 → R4から移住定住
就業等移住支援事業 → 環境整備事業に統合
移住定住推進事業 ※R4から本格実施